



2021年4月2日

各位

上場会社名 タビオ 株式会社
 代表者 代表取締役社長 越智 勝寛
 (コード番号 2668)
 問合せ先責任者 取締役財務部長 谷川 繁
 (TEL 06-6632-1200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年10月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年2月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,002	△1,322	△1,134	△1,712	△251.87
今回修正予想(B)	11,505	△1,082	△866	△1,550	△228.11
増減額(B-A)	503	240	268	162	
増減率(%)	4.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績(2020年2月期)	15,722	249	262	7	1.11

2021年2月期通期個別業績予想数値の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,877	△1,246	△1,036	△1,568	△230.69
今回修正予想(B)	11,393	△980	△774	△1,437	△211.53
増減額(B-A)	516	266	262	131	
増減率(%)	4.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績(2020年2月期)	15,564	198	248	58	8.63

修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、緊急事態宣言による臨時休業の影響が強かった上半期を踏まえ、下半期においても、新型コロナウイルス感染症の再拡大懸念による消費への影響を一定程度見積もっておりましたが、昨年10月の消費税増税による反動増や気温の低下にともなう冬物需要などもあり、売上高は厳しいながらも当初想定を上回る見通しとなりました。

利益面におきましても、販売管理費は計画の範囲内で推移しており、想定よりも売上高が増加したことに伴い、厳しい内容ではありますが、当初計画を上回る見通しです。なお、コロナ禍における市況の悪化等を受けて、連結子会社タビオ・フランスにおける営業権の実質価額の状況を踏まえ、減損損失114百万円を特別損失に計上する予定です。

通期の個別業績予想につきましても、連結業績予想と同じく、売上高においては当初想定を上回る見通しとなり、利益面におきましても、厳しいながらも計画を上回る見込みです。なお、連結子会社タビオ・フランスの株式について、同社の業績及び純資産の状況に鑑み、個別業績において子会社株式評価損142百万円を特別損失に計上する予定です。

以上を踏まえ、通期の連結・個別業績予想を修正致します。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上